

5. 世界貿易動向分析

1. 調査の目的

世界貿易動向分析は、直近時点における世界貿易の動向を把握することを目的としている。平成 19 年度では、2006 年を対象である。

2. 調査の概要

世界貿易の動向を把握する方法として、世界貿易の流れを 1 表で俯瞰できる「貿易マトリックス」を作成している。

平成 19 年度版の報告書では、2004 年および 2005 年の 2 年間について、総額の他に主要な品目を選び掲載している。あわせて、貿易マトリックスの特徴を抽出した「付属表」についても掲載している。

主な内容は次のとおり。

1. 貿易マトリックス（および付属表）の見方、作成法、商品分類の定義
留意点として次の 2 点を解説している
 - 1) 米中貿易、日中貿易における貿易統計の不突合
 - 2) 中国の対「中国」輸入に香港の中国向け再輸出品がどの程度含まれているのか～中国原産品の還流
2. 地域別財別表（世界、日本、米国、中国、EU27 カ国合計、ASEAN10 カ国合計、東アジア 10 カ国合計）
3. 掲載した品目
 - (1.) 総額
 - (2.) 機械機器
 - (3.) 一般機械
 - (4.) 鉱山・建設機械
 - (5.) 工作機械
 - (6.) 電気機器
 - (7.) 輸送機器
 - (8.) 自動車
 - (9.) 自動車部品
 - (10.) 精密機器
 - (11.) 化学工業品
 - (12.) 核燃料
 - (13.) 食料品
 - (14.) 魚介類
 - (15.) まぐろ
 - (16.) 雑製品

- (17.) 鉱物性燃料等
- (18.) 石炭類
- (19.) 原油
- (20.) 繊維および同製品
- (21.) IT 関連機器 (合計)
- (22.) IT 関連機器 (部品)